

科目名	心理的アセスメント		担当教員	野村 香代	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	
期待される学修成果					
アクティブラーニングの要素	グループワーク				
実務経験	臨床心理士、公認心理師				
実務経験を生かした授業内容	医療機関での勤務経験に基づき、学校現場で求められる能力や行動アセスメントツールを取り上げ、検査内容や方法を説明する。				
到達目標及びテーマ	アセスメントの基礎知識を習得した上で、クライアントのニーズに応じたアセスメント方法を選択することができるようになる。				
授業の概要	アセスメントとは何かをまず学び、その上で具体的なアセスメント方法・ツールに触れ、いかに解釈し、心理的支援につなげていくのかを学ぶ。				

授業計画	
第1回	イントロダクション：アセスメントとは
第2回	質問紙法とは
第3回	面接法とは
第4回	描画法とは
第5回	投影法とは
第6回	作業検査法
第7回	発達検査とは
第8回	知能検査とは
第9回	知能検査の実施
第10回	知能検査の評価
第11回	知能検査の報告
第12回	認知機能検査
第13回	発達障害の検査
第14回	学校で使用されるアセスメント方法
第15回	講義のまとめと最終レポート

事前学修		授業で取り上げる検査内容について、事前に配布する検査用紙・検査実施テキストを読み込んでおくこと。
事後学修		授業内で行った検査の意義や方法を整理し、自分で実施できるように復習しておくこと。
フィードバックの方法		振り返りシート、レポートは、必要に応じてコメントした後に返却し、質問事項に関しては講義で解説を加える。

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
レポート	60%	①知能検査結果報告レポート(30%)、②アセスメントの基礎知識や実施に関するレポート(30%)
上記以外の試験・平常点評価	40%	①講義後の振り返りシート(20%)、②ペアワークへの取り組み(20%)
定期試験	0%	実施しない
補足事項	知能検査の実施は、単位取得において必須とするため、欠席の際は補講を受けること。	

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
公認心理師のための「心理査定」講義(臨床心理フロンティア)	下山 晴彦(著, 監修, 編集), 宮川 純(著, 編集), 松田 修(著, 編集), 国里 愛彦(著, 編集)	北大路書房	4762831557	ISBN-13 : 978-4762831553
参考資料	検査に必要な実施テキスト等は、講義前に貸し出す。			